

< 運営推進会議における評価 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人相志会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護こころくぼり
所在地	(〒 446 - 0073) 愛知県安城市篠目町竜田 155 番		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

住み慣れた地域の中で、利用者の方と利用者の方と関わる家族の生活を支えたいと考えて、これまで大事にしてきた生活スタイルを尊重して支援を継続しています。看護職員、介護職員のそれぞれの強みを生かし、一人ひとりの個別性を尊重した支援体制が確立して、利用者の心身の状態や、生活状況、家族の介護負担軽減も含めて、全ての方々に選んでよかったと思って頂けるような施設を目指しています。医師、栄養士等とも連携を密にとっており、医療依存の高い利用者に対してのケアの充実が図られています。自宅での生活が困難な方も看多機の強みである柔軟なサービスの提供を実施していくことで、在宅での生活を継続しながらも、ご家族がゆっくり過ごせる時間を確保することができています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2023 年 3 月 16 日	従業者等自己評価 実施人数	(9) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	---------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2023 年 3 月 22 日	出席人数 (合計)	(8) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	■自事業所職員 (2 人) ■市町村職員 (1 人) ■地域包括支援センター職員 (1 人) ■地域住民の代表者 (2 人) □利用者 (〃) 人 □利用者の家族 (〃) 人 ■知見を有する者 (1 人) ■その他 (1 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価		
			自己評価	運営推進会議における意見等	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<p>看多機とは何かという事を職員に周知させ、役割や特徴をしっかりと把握して、柔軟なサービスを提供していく。</p> <p>「個人目標管理表」を有効に活用して、評価基準を明確にしていく。</p> <p>内部研修のやり方を変えていく。具体的には、1日全ての研修を行う日を毎月決めて、自分の休みや業務変更ができそうな時間帯にできるようにしていく。(1年間を通してやることで、自分のペースで研修計画を立てることができる)</p>	<p>・職員の退職や入職があり、新しい職員が増えるタイミングや節度ごとに看多機の役割について説明を行っていた。利用を始めてから、改めて家族に聞かれる機会もあるため理解していないと説明できないこともある。そのため契約書や重要事項説明書も修正の度に、職員一人ひとりにも内容を確認してもらうようにしている。内部研修への参加は、1日全ての研修に参加させることはできなかったが、1講義ずつ参加することができた。</p>	<p>・看多機とは何かを意識しながら仕事をすることができた。</p> <p>・内部研修は職員の入れ替わりがあり、4月からの入職の職員は参加することができたが中途からの職員は1講義ずつしか参加することができなかった。</p>	<p>・職員が看多機を理解して役割や特徴をご家族に話せるようになることは良い事だと思った。</p> <p>・看多機がどういった方が対象か、職員が把握していると説明してもらえるので安心だと思う。</p> <p>・内部研修は各々参加できる時に参加できればいいと思いました。</p>	
II. サービス提供等の評価	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<p>モニタリングの記入など事務的な業務が追い付いていない。職員が事務処理など行えるよう勤務調整していく。</p> <p>利用者が増えたことで、情報量が増えて職員間の共有がうまくできていない事が増えてきた。ミニカンファレンスを増やしていく。そしてその内容をノ</p>	<p>・朝の申し送りの際、利用日変更や緊急ショート、利用者様の体調の変化等を申し送り日誌に記入し、口頭とノートにて情報を共有している。</p> <p>・ケアカルテやサルビー見守りネットを使用し、情報を共有している。</p>	<p>・医療機関とはサルビー見守りネット等で細かく情報共有が出来ているが、職員同士だと近い反面、情報の混濁が見られ、細かい情報が抜けていることがあった。</p> <p>・次年度は情報共有のため口頭での情報もケアカルテ</p>	<p>・利用者さんの体調などの情報は大事なものなのでしっかり管理して共有して欲しいです。</p>

		<p>ート発信・口頭発信で、伝える事を徹底していく。</p>		<p>に入力し情報を共有することとした。</p>	
<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>主治医との連携はしっかりとれている。増えていくと思われるので、継続して連携をしていく。</p> <p>コロナ禍の為運営推進会議が書面での開催となったため地域との連携が取れていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上記でも記載したがサルビー見守りネット等を使用しながら医療機関との連携を継続して行っている。 ・コロナ禍の為、運営推進会議は書類開催となってしまった。地域との連携は、地域ケア部会などの限られたものになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の体調等の変動があった際も情報共有が医療機関と迅速に行われていたため、急なサービス変更などに対応することができた。 ・運営推進会議がどういったものか分からず、情報を読むだけになってしまった職員もおり周知を徹底したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・使える連絡方法があって、しっかり情報共有ができるので安心だと感じた。 ・人数が増えてくると、大変だと思うが根源に関わる事なのでしっかりやって下さい。 ・運営推進会議はコロナ禍でも開催できるようにオンライン化などを検討してみてください。 	
<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)</p>	<p>コロナ禍の影響の中で地域への活動は何も行えていなかった。このような中でも役割を発信できるように考えていく必要がある。</p> <p>地域包括システムの中で看多機の役割とは何か勉強会を開催していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への活動は、コロナ禍の影響もあり、行えない事は多かったが、ご家族の地域への行事の参加に関しては広報などの情報誌にて個別に参加を促したこともある。 ・同居しているご家族様の担当者会議にも出来るだけ参加し、別事業所の方と連携していくことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問中に家族から地域の話や参加している行事などの話を聞きながら、継続して地域に出て頂けるように促した。 ・地域包括ケアシステムが一部の職員しか認識できておらず、全ての職員が理解できるまで時間がかかると思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は、地域でも行事などが再開すると思うのでぜひ地域に出て参加して下さい。 ・地域包括ケアシステムの中で看多機が中心になる事もあるかと思うのでしっかり勉強して下さい。 	

<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<p>サービス導入により、利用者毎の計画目標はおおむね達成されている。しかし、評価後に新たに目標を立て直す事があまりできていなかった。</p> <p>看多機の特性を活かし、医療が必要な利用者への対応はしっかりできている。特変時・緊急時の連絡体制も確立している為利用者・家族とも安心して自宅で過ごされている。</p> <p>看護師が多く在籍しているため看取りの体制は出来上がっており、介護職も看取りへの知識が身につけている。先日も看取りのサービスを提供し、家族より「安心できた」とのお言葉を頂けた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体調や自宅での転倒事案、入院などの様子によって、状態悪化のための目標変更には対応できていたが、日々の更新時や日常的变化などの軽微な変化については修正のみにとどまっていることもあった。 ・緊急時の連絡体制は摂れているが、日常の連絡に対する家族の返答がないこともあり、メールなどの手段を使用することもある。 ・看取り体制ができているため、看護職員からの指導もあり介護職員からも安心して訪問や施設内での介護に従事することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時には対応しなければならぬ他機関も多く、情報が錯綜しないように、目標を立て直すことができているが、通常に関してはまだ甘い所があるので次期に目標にしたい。 ・ショートメールなどの情報手段で連絡は概ね出来ている。なかなか仕事で忙しく、すぐに対応してくれない事もある為早めに連絡をすることにする。 ・看取りを施設内で行うことを希望された方がおり、家族や自宅から一時的に離れてしまうが、施設内でも安心できる空間づくり、声掛け等を行い、最期の時を迎えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書はどんどん更新しなければならない事は大変だと思うが、それが無いと他の事業所も困るのでしっかりやって欲しい。 ・緊急時の連絡体制が出来ているため大丈夫だと思う。働いている家族だと連絡がなかなかできないと思う。 ・在宅でも看取りの対応をして欲しい方は多いと思う。これからは体制を見直しながら対応して行って欲しい。
---------------------------------	--	---	---	--

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「改善計画（案）」および「運営推進会議における評価」

項目	改善計画（案）	運営推進会議における意見等
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・理念を職員に浸透するために朝の申し送りの際に伝え、事業所内の職員が見える位置に理念を掲示し、日々の業務に活かせるようにする。 ・内部研修については令和5年度より事業所全体でeラーニングにて行う予定のため勤務時間に縛られずに受けられる利点はあるが、自己目標に合わせた研修を目標設定期間中に受講するのは自分で管理しなければならないので、管理者と面談の機会を持ちながら定期的に研修の進捗状況を確認する。 ・職場環境の問題点は何か意見を出し合い、自分たちで改善できるところは改善して、代替案があれば調整してもらえるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念は事業所の根源となるものなので、全職員が必ず見える所に掲示をして下さい。業務を行う中で、何度も見返すことができるような機会があるといいと思います。 ・内部研修の形態が変わるという事で、業務中に時間を作ることなく参加できるのはいいと思った。ぜひ、日々の業務に活かして行ってください。
II. サービス提供等の評価	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看多機の特性を活かして、看護職員や介護職員が互いの業務の内容を理解しており、傷の処置や留置カテーテルの固定等姿勢の保持を含めた業務中に学ぶ機会もあり、介護職員の利用者の状態の変化に対する意識は高い。 ・既往歴や現病にて今の瞬間困っていることにフォーカスし過ぎてしまい、持続的な計画書になっていないため、短い期間を設け、目の前の事が解決したら、何をするかという長期的なものにもっと目を向けていく。 ・体調が変わるごとに、歳を重ねるごとにサービスの内容もそれに伴う計画書の見直しを行う必要があるため、日々のモニタリングを含むアセスメントを確り行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看多機の特性を活かしていると思います。職員の方の学ぶ姿勢をこれからも伸ばしてあげてください。 ・計画書は、アセスメントを確り行ってうえて、必要なサービスを行う上で必要なものです。細かく見直しを行いながら、本人の本来目指すべき姿への目標設定にして欲しい。 ・これからもしっかりと家族と本人の話を聞いて欲しい。

	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医等医療機関にはサルビー見守りネットやメール、電話などを使って日常的な変化はもちろん異常時などの状況について情報を共有しており、今後もさらに利用者の情報を正確に伝えていけるようにしていく。 ・コロナ禍等感染対策の観点から対面での開催を行わない場合は、部会などを参照し Zoom 等を使用したオンライン開催を実現していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報は正確に素早く伝わると、関連機関も助かると思います。何を伝えたいのか、どう動けばいいのかわかるように伝える勉強もして下さい。 ・Zoom 開催は賛成です。書面だけではわからない事もある。
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の議事録や委員の方の意見に関しては事業所内にコピーを配布して、回覧したら氏名を記入してもらうようにしていく。 ・地域包括ケアシステムに関して事業所内で勉強会を開催し、全ての職員に地域包括ケアシステムの中での看多機の立ち位置はどこに当たるのか実際に考えてもらう。 ・医療度の高い利用者の方の地域のインフォーマルな力を使ったサービスがあるか福祉センターや市役所などに情報収集をし、実際にそういったサービスを家族に提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・包括でもケアシステムの確立は、医療に強い看多機の事業所は無くてはならない存在です。私たちもこれから見直していくので協力よろしくお願いします。 ・運営推進会議での意見が直接業務に活かせるかわからないが、イベントや地域の行事についてのお誘いは出来ると思うので参加して下さい。

<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<p>・現在看取りの希望者はいないが、年齢や医療度が高い方はいつ必要となってもおかしくない。そのため、ご本人の様子や連携している医療機関、家族等と情報を綿密に共有していきながらご本人の病状だけではなく生活を支えられるように連携していく。</p> <p>・医療度の高い方もおり、不安の中在宅で利用者を看ている家族に比重を置きすぎると、宿泊が増え在宅から切り離してしまうことになるかもしれない。ご家族の不安や体力など加味しつつ、過大なサービスにならないように訪問時や送迎時などに家族に話を伺っていく。</p>	<p>・地域の中で看多機にどういった方がいるのか、運営推進会議等で分かるが、他の方はほとんど関心がないことが分かった。その中でも協力したいと言われている方もいると思うので地域にも出てきてほしい。</p> <p>・家族にとってサービスは過度になればなるだけ嬉しいかもしれないが、在宅から切り離さないという言葉聞いてハッとした。最後まで自宅で、とは難しいかもしれないが、在宅での生活への継続をこれからもお願いしたい。</p>
---------------------------------	--	--

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■看護小規模多機能型居宅介護 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ でき てい る	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤		6	2	1	・スタッフが意見を出し合い理念を作成しているのは大変素晴らしいと思います。理念の内容も看多機に求められている機能も漏れなく入っていると思います。	<p>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</p> <p>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</p>
	[具体的な状況・取組内容] ・自己評価に取り組む中で、理念の必要性を理解し、スタッフで意見を出し合い、作成した。						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い			
	地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	・①から④の内容を含んでいる理念を作成している。				<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアへの貢献についても上げる事を検討して下さい。 ・おおよそできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」 	
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	1	3	5		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社の理念と混同し覚えていることが多いと感じたため、理念の掲示を職員全員が分かるところへ掲示することとした。中々浸透していなかったため、次回からはカンファレンスや朝の申し送りの際を活用していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念は抽象度が高いため、各職員への理解を促すことはなかなか難しいと思います。一方で理念は事業所の存在理由の原点であり、そこで働く意味を見出すものだと思います。少しずつ浸透していけばと思います。 ・職員が理解を深め、実践できるよう努めてください。 ・あまりできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
(2) 人材の育成								

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	1	3	5		<p>・業務と業務の隙間時間等に何気なく話をするなどし、各職員の様子を見るようにしていくことが必要だと考えています。管理者がいかに職員の様子をよく見ておくかだと感じています。</p> <p>・職員の育成計画について各職員に示し、個人目標掲げることができるよう努めてください。</p> <p>・あまりできていない。</p>	<p>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</p> <p>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</p> <p>✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・前期後期に分けて個人目標を掲示しているが、中々話し合いの機会が長くとることが出来ず評価が充分に行えていない。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	5	1	3		<p>・今後もぜひ積極的に研修等の学びの機会に参加して頂ければと思います。包括としても、保健福祉部会としても研修等の情報をお伝えしていきます。</p> <p>・職員に促すだけでなく、受講できる体制を整えてください。</p> <p>・よくできている。</p>	<p>✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</p>
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている		7	2		<p>・お互いの理解が深まれば深まるほど連携がしやすくなり、利用者の利益につながると 생각합니다。定期的なカンファレンスの開催とともにその質の向上に努めて頂けると良いかと思ひます。</p> <p>・定期的に実施をし、共有に努めてください。</p> <p>・おおよそできている。</p>	<p>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている			8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような状況にも対応できるようにオンラインでの開催も検討いただければと思います。 ・コロナ禍では仕方ありませんが、会議結果等、必要に応じ、現場まで届くように努めてください。 ・あまりできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている			7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らし取り組みだと思います。介護人材が増えない状況に置いては、今いる職員を大切に、今後も働きやすい環境を整備することが求められます。 ・就業規則だけでなく、就業環境の充実を図って下さい。 ・おおよそできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	1	6	2	<p>・これからも抜け漏れの無い情報共有に努めてください。</p> <p>・日頃から職員間共有するとともに支援計画など利用者に寄り添った支援できるように努めてください。</p> <p>・おおよそできている。</p>	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します	
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		5	3	1	<p>一つの事故が事務所の運営に大きな影響を及ぼすことがあります手間のかかる事ですが、各種の事故リスクへの対策を今後も継続して実施してください。</p>	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」な

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
						<ul style="list-style-type: none"> ・日頃のケアの事故予防など安全管理に取り組めるよう努めてください。 ・おおよそできている。 	<p>どが考えられます</p>
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		7	2		<p>・すでに BCP の政策もされている事と思います。貴所のように医療依存度が高い方への対応は喫緊の課題であると思います。また関係機関及び地域との連携をどのように検討されているかお聞かせいただくとありがたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続をお願いします。 ・おおよそできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		5	4		<ul style="list-style-type: none"> ・これこそが看多機の強みだと思われます。包括としても学ぶべきところがあると考えています。 ・日頃から 24 時間の暮らしができるようアセスメントをしたサービスの提供に努めてください。 ・おおよそできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続きお互いの立場を理解した、情報共有をお願いします。 ・アセスメントの結果の共有の充足を図って下さい。 ・おおよそできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		6	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・左記のような状況になると短期的な解決に目が向きやすくなるのは致し方無い所もありますが、長期的な目標から見た解決策も見据えた目標づくりが出来ると良いかと思われまます。 ・日頃から家族等を含め、継続的な把握に努めてくださ 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
						い。 ・おおよそできている。	
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自立した日常生活を営むことがいかに生活の質を高めるかをよく理解されていると感じます。 ・日ごろから家族等を含め、継続的な把握に努めてください。 ・おおよそできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		4	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・家族との話し合い等、丁寧に対応されていると感じます。 ・日ごろから家族等を含め、継続的な把握に努めてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		会を何度か設ける場合もある。				・おおよそできている。	予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		3	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、利用者の観察に努め、早期の対応をお願いします。 ・日ごろから家族等を含め、継続的な把握に努めてください。 ・おおよそできている 	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切		4	4	1	・左記の記載においては、致し方無いところもあるのか	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い			
	に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・介護度だけではなく、ご本人の生活状況に応じて（独居である等）通いが偏ってしまったり、泊まりだけを利用していたりする方もいる。 ・またご家族の状況に応じて、緊急で泊まりのサービスを利用してもらう事もあつる為偏る月もある。				と思われます。むしろその時の状況に応じて臨機応変に対応して頂いていると感じています。 ・日ごろから家族等を含め、継続的な把握に努めてください。 ・あまりできていない。	な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です	
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有								
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	1	6	2		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・サルビー見守りネット等を利用し、訪問診療の医師と情報を共有しており、急変時や異常時に対応している。	・サルビー見守りネットを活用により、主治医や他機関と気楽な情報共有が図れると思います。今後も積極的に活用して下さい。 ・今後との情報共有に努めてください。 ・おおよそできている。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている		4	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・看多機という事業かつ限られた人員の中で対応するには、職種以外の業務を行わざるを得ないのではないのでしょうか。柔軟に対応しているとも言えます。 ・看護職員の増員を含め、柔軟な役割分担できるよう努めてください。 ・あまりできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている		7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き抜け漏れの無い情報共有に努めてください。 ・アセスメントの結果の共有の充足を図って下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
						・おおよそできている。	
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている		7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・看多機だからこそ、相互の学び合いが出来ていると思われま。素晴らしい取り組みだと思ひます。 ・利用者に合わせて支援できるように努めてください。 ・おおよそできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		5	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な対応が求められます。今後も引き続きお願い致します。 ・分かりやすい説明をお願いします。 ・おおよそできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		得いただけるようにお話している。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・家族の介護負担軽減と介護サービスの利用のバランスは難しいところがあります。利用者、家族の理解得る作業が必要だと感じています。 ・今後とも理解を得られる説明をお願いします。 ・おおよそできている。 	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・在宅での生活は家族ありきなため、介護負担を加味すると施設に行く時間が多くなる。その点もご家族とご本人に説明し、理解を得られるようにしている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		4	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい取り組みだと思えます。このような実践を他の職種に伝えて頂けるとありがたいです。 ・今後とも理解を得られる説明をお願いします。 ・おおよそできている。 	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・訪問看護に行く看護師が、必ず看護師だけでなくご家族も巻き込んで処置を行っており、吸引が行えるようになったご家族も多い。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している		4	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・包括は重度化及び終末期の方に対応することがほとんどありません。現在取り組まれている支援は大変参考になるものと思われま。安城市も進めている ACP にも関係する事項であると思いま。看多機ならではの情報発信をお願いします。 ・サービス提供に反映できるよう把握に努めてください。 ・おおよそできている。 	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		6	3		<ul style="list-style-type: none"> ・包括は重度化及び終末期の方に対応することがほとんどありません。現在取り組まれている支援は大変参考になるものと思われま。安城市も進めている ACP にも関 	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		に応じて相談に応じている。				<p>係する事項であると思います。看多機ならではの情報発信をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後とも相談・共有できる関係になるよう努めてください。 ・おおよそできている 	
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している		5	4		<p>・包括は重度化及び終末期の方に対応することがほとんどありません。現在取り組まれている支援は大変参考になるものと思われます。安城市も進めている ACP にも関係する事項であると思います。看多機ならではの情報発信をお願いします。</p> <p>・記録として残せるように努めてください。</p> <p>・おおよそできている</p>	<p>✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」</p>
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等		6	3		<p>・病院の MSW との連携を今後も積極的に行って下さい。</p>	<p>✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価し</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・入院された場合など、情報をスムーズに移行できるようにソーシャルワーカーと連絡を密に行う。				お願いします。 ・今後とも連携に努めてください。 ・おおよそできている。	ます ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている		4	4	1	・上記同様に、多職種との連携を今後もお願いします。 ・利用者毎の緊急対応について共有して頂きたい。 ・おおよそできている。	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含め		5	3	1	・記載により、地域にとって欠かせない施設であること	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価しま

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	て、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・24 時間緊急時対応出来る看護師がおり、夜であっても電話での対応か訪問での対応を行う。 ・訪問診療の医師とはサルビー見守りネットにて時間外であっても相談が可能である。				が感じ取れます。またサルビー見守りネットを積極的に活用していただいていることがよく分かります。今後も医師に対してサルビー見守りネットの活用を進めてください。 ・対応できるように努めてください。 ・おおよそできている。	す
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		2	3	2	地域の方も機会が無ければ貴所と関わるできないため、運営推進会議を地域関係者及び行政に対する PR 及びコミュニケーションの機会として活用して下さい。そのためにはオンラインによる会議の開催も検討して下さい。 ・地域に開かれた会議になるように努めてください。 ・あまりできていない。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている		4	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイリングしている運営推進会議の内容を他の職員が閲覧しているか否かを確認はされた方が良いかと思えます。 ・情報発信が出来るように努めてください。 ・おおよそできている 	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について			5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議等を活用して、地域へ出向ける機会を伺 	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	て、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・コロナ禍でそういった地域の方に向けた行事がすべて中止となってしまった。 ・地域の方が来られ「介護の事何もわからない」と言った方に関して入居申し込み等関係なく、介護についての相談を受ける事はある。				ってみましょう。貴所の情報発信は地域の方にとっても有益な情報であるはずですが、包括としてお手伝いできることがあればいつでもご連絡ください。 ・啓発活動が出来る範囲で行って下さい。 ・あまりできていない。	✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している			6	3	・人員とも兼ね合いで、外部サービスまで手が回らないのが現状だと思います。ただ今後は地域へ出るという視点からも登録者以外の訪問看護も実施して頂ければと思います。 ・あまりできていない。	✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
						<p>・登録者以外とした訪問看護が出来ない場合は「全くできていない」としてください。</p>	<p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		6	2	1	<p>24 にも記載されていたように、今後も家族への指導を積極的に行ってください。またその知識を地域へ還元して下さい。</p> <p>・受け入れできるような体制づくりに努めてください。</p> <p>・おおよそできている。</p>	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れるこ		6	3		<p>・いつでも受け入れることができるよう体制を整えて頂</p>	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	とができる体制が整っており、積極的に受け入れている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・受け入れたことはないが、看護職員に知識があり在宅での在宅酸素などの対応も行ったことがある。				ければと思います。 ・受け入れできるような体制づくりに努めてください。 ・おおよそできている。	✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		4	4	1	・看取りに関する知識のある職員が多い体制を構築できていることが素晴らしいと思います。家族の安心にもつながります。今後もこの体制を維持して下さい。 ・受け入れできるような体制づくりに努めてください。 ・おおよそできている。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している		2	5	2	<p>・看多機の地域における位置づけ、役割を明確にし、ともに少しずつ進めていきましょう。</p> <p>・施設内での共有を図って下さい。</p> <p>・あまりできていない。</p>	<p>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</p> <p>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」</p>
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	9				<p>・今後も幅広い対応をお願いします。</p> <p>・特定の集合住宅等に限定しない受け入れを行って下さい。</p> <p>・よくできている。</p>	<p>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます</p> <p>✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		7	2		<p>包括及び作野福祉センターの生活支援コーディネーターを活用して下さい。我々には思いつかない看多機ならではの提案もお願いします。包括も防災訓練への参加が出来ていない状況ですので、一緒に参加できたらと思います。</p> <p>・介護や看護を通じた地域への課題、改善策を提案できる事業所となるように期待します。</p> <p>・おおよそできている。</p>	<p>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出し		5	2	2	<p>・地域の介護力の向上も大きな課題であると考えます。貴</p>	<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	や向上のための具体的な取組等が行われている	<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主介護の家族以外の家族の存在やインフォーマルな地域のつながりに中々医療度の高い方だと出来ていない事がある。 ・しかし、看護師の指導により、私でもできると奥様のやる気を引き出したこともある。施設があるため、在宅で安心して生活できているのではないかと思う。 				<p>所のお力をお借りして地域の介護力を向上できればと思います。やる気を引き出す事ができた奥様のような肩を増やすことができれば、介護に対する見方も変わると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族だけではなく地域住民への取り組みに努めてください。 ・適切な計画目標となるように努めてください。 ・おおよそできている。 	<p>取組」について、その充足度を評価します</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>③. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>・完全に在宅での生活と切り離し施設での生活の比重が重くなっている方がいる。在宅生活の継続の可否を検討いただけるように話し合いを続けていく。</p>	<p>・具体的な取り組み内容から、看多機の機能を理解してもらうことの難しさを感じます。話し合いを重ねるしか方法はないと思います。</p> <p>・安心感が得られる支援に努めてください。</p> <p>・おおよそできている。</p>	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>・在宅以外にも居場所があり、ご本人の医療的な不安が解消されている。訪問看護にて在宅生活等を支えている。</p>	<p>看多機をうまく活用できている具体例だと思えます。居場所があること、専門職がいる事、自宅に尋ねてくることの方が安心につながっていると感じています。</p> <p>・おおよそできている。</p>	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>⑤. 看取りの希望者はいない</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>・状態が安定しているのもあり、現在在宅での看取りの希望者はいないが、以前は施設内での看取りの希望もあった。どちらもご希望があればご提案していく予定である。</p>	<p>運営推進会議等で看多機における看取りの実践をお伝えください。専門職のみならず、地域の方にとっても必要な情報であると思います。</p> <p>・おおよそできている。</p>	<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>